

北九州市地域コミュニティビジョン検討会議について (進捗報告)

1. 第5回会議(令和8年1月19日)

(1)議題説明(事務局)

地域コミュニティの将来像を実現するために必要な具体的な取り組みは何かについて、これまでの検討会議の議論から見えてきた5つの視点を題材に議論した。

- ① デジタル技術の活用
- ② 地域の拠点・居場所の確保
- ③ 地域の連携・協働機能の強化
- ④ 地域団体の目的や役割のスリム化・効率化
- ⑤ 地域型循環システムへチャレンジ

(2)意見交換

5つの取組の視点が重要だと確認された。

(主な意見)

- ・デジタルは、人と人をつなぐ接点として重要である。シニアが地域のデジタルインストラクターとして活動するなど、支え合う仕組みが重要。
- ・若い世代が、単なるマンパワーではなく、地域のルールづくりに関わる必要がある。
- ・地域に多様な居場所(サードプレイス)があることが、住民の安心感につながる。
- ・現在活動している人への感謝を大事にしながら、新しい人が参加しやすい環境をつくる。活動のモチベーションとして、「ありがとう」が見える形で伝えることが重要。
- ・地域によって条件や課題は異なる。まずはモデルとなる取組をつくり、参考にしたい地域が取り入れて広げていくことが重要。

※会議詳細は、市ホームページ等で、議事録・動画を公開しています。
ご覧ください。

2. 今後の予定

議論を踏まえて、ビジョン素案を作成し、パブリックコメント等を行って広く意見を集める。

3. 参考資料

資料1:第5回会議説明資料「これまでの振り返りと本日の議題について」